

目の病気 知識深める

眼医研会主催 健康教室に200人

目の病気を「いじり」予防を促す目の健康教室＝徳島市内の眼医研会館



「目の健康講座」(十 健)が五日、徳島市内の目「いじり」をテーマにした目の健康教室(徳島眼医研会館)で開かれ、約二百人が目の病気の知識を深めた。

眼医研会会長の橋本正樹氏が「ドライアイ」と「眼乾燥症」について講演した。ドライアイの原因としてパソコンやスマートフォン、コンタクトレンズの使用の増加に眼病を誘発するものもあることを説明。目の疲れや痒み、目やになど十二項目の症状項目のうち五項目以上が該当する人は、眼科で検査を受けるよう呼び掛けた。

徳島大学眼科の江川麻理子助教は、よくある眼病の原因や治療法などを解説。アイバンクへの眼液提供を呼び掛けるビデオの上映もあった。